



2020年2月10日

各位

会社名 株式会社 銀座山形屋
代表者名 代表取締役社長 小口 弘明
(JASDAQ・コード番号8215)
問合せ先
役職・氏名 管理部長 渡邊 光潤
電 話 03-6866-0276

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期第3四半期連結会計期間におきまして、特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。それを踏まえ、2019年5月14日に公表した2020年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失について

当社は、2020年3月期第3四半期連結会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、経営環境の変化等の影響を受け、継続して営業損益の悪化となっている連結子会社の工場・店舗の固定資産（設備機械等）の金額について、将来収益を保守的に見直した結果、特別損失として減損損失71百万円を計上することといたします。

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年5月14日)	5,730	190	250	200	115円91銭
今回修正予想(B)	5,200	△10	50	△50	△28円99銭
増減額(B-A)	△530	△200	△200	△250	—
増減率(%)	△9.2	—	△80.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	5,587	115	175	85	49円37銭

(2) 修正の理由

第2四半期連結会計期間までは計画通り推移してきましたが、繁忙期である当第3四半期連結会計期間（10月～12月）において、オーダーメイドスーツ売上高の客単価は増加しましたが、消費税引き上げや自然災害等の影響で客数減少により売上高前年対比11.2%減となりました。一方、受注数量が減少したことにより縫製事業4工場の生産体制に減産・稼働日変更等が生じたことにより効率的生産が出来ず製造コスト増となり、売上総利益率も売上総利益率前年対比0.9ポイント減となりました。通期連結の販売費及び一般管理費につきましては計画値を下回る見込みですが、売上高、売上総利益の落ち込みをカバーするに至らず、営業利益、経常利益においても前回発表予想を下回る見込みです。また上記特別損失を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を大幅に下回りました。

以上